



村松北区 自治会の皆さんと 住民原子力懇談会を実施しました

1月20日 村松北区の皆さん8名の方に参加していただき、住民原子力懇談会を実施しました。

日本原子力研究開発機構J-PARCセンターの施設を見学し、安全対策や研究に関する活発な議論が行われました。

<住民原子力懇談会の目的>

住民原子力懇談会は、住民・原子力事業所・行政が施設見学や意見交換を行うことにより、相互理解を深め、原子力安全行政の充実及び原子力安全対策の拡充に寄与することを目的に、平成20年度から行っているものです。

平成25年5月に発生したハドロン実験施設からの放射性物質の漏えい事故に対する再発防止の安全対策、J-PARCで行われている最先端の研究について、現場見学を含め、活発な質疑応答が行われました。

見学会では、ハドロン実験施設は外観のみでしたが、量子ビームを使って様々な実験を行っている物質・生命科学実験施設、昨年画期的な成果をあげたニュートリノ実験施設を見学しました。

防災原子力安全課に対しては、村松北区で実施された避難訓練を踏まえて、地区の実情に応じた避難計画を策定してほしいとの要望が出されました。

なお、見学会・懇談会には、環境省原子力規制委員会東海・大洗原子力規制事務所の事務所長も同席され、国の役割などに対する住民の皆さんの疑問や意見に答えいただきました。



<村松北区 住民原子力懇談会 実施概要>

平成27年1月20日（火）12時50分～16時40分

見学会 13時20分～15時20分

原子力科学研究所情報交流棟内会議室で概要説明
現場見学

物質・生命科学実験施設（MLF）

ハドロン実験施設 ※外観のみ

ニュートリノ実験施設

懇談会 15時30分～16時40分

情報交流棟内 会議室